

20世紀最大の巨匠 パブロ・ピカソ 作品展

2025年8月1日(金) → 12日(火)

11:00 - 19:00 会期中無休

パブロ・ピカソ（1881-1973）は、天才的な才能による旺盛な創造力によって生み出した膨大な数の作品と革新的な造形によって、美術史上比類無き成果を残した20世紀最大の巨匠です。その芸術へのあくなき探求は、油彩画のみならず版画、彫刻、陶芸など幅広い分野に及んでいます

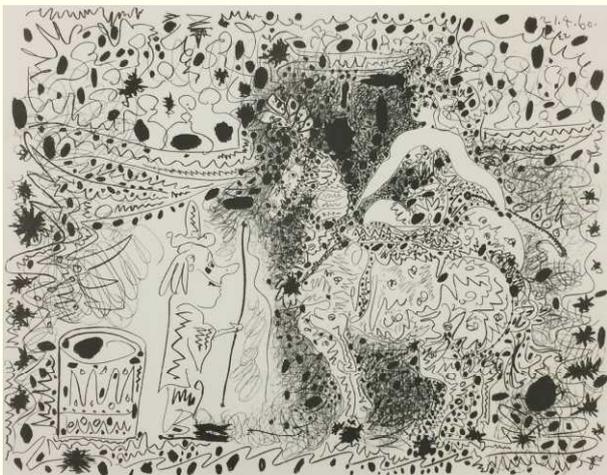
このたび版画を中心に、陶芸も交えて、初期から晩年までのピカソ作品22点を一堂に展覧いたします。その魔術的ともいえる多彩で豊饒なピカソ芸術をぜひお楽しみください。



1 ピカソ「窓の外を見つめる女」
1959年 リノカット 53×64cm
鉛筆サイン 限定50部



2 ピカソ「ミノタウロスと酒を飲む男と女」
1933年 銅版画 30×36cm
鉛筆サイン 限定250部



3 ピカソ「女曲馬師」
1960年 リトグラフ 50×64cm
鉛筆サイン 限定200部



4 ピカソ「ピカドール II」
1961年 リトグラフ 20×26cm
版上サイン ※本に添付された版画



5 ピカソ「母子像」
 (ジャック・ヴィヨン版)
 1930年 銅版画 65×42cm
 鉛筆サイン 限定200部

1901年制作のピカソの油彩画を元にジャック・ヴィヨンによって制作された銅版画です。

ジャック・ヴィヨン(Jacques VILLON, 1875-1963)はフランスのノルマンディー生まれ。祖父に版画の手ほどきをうけ、後にキュビズムを代表する銅版画家として活躍しました。



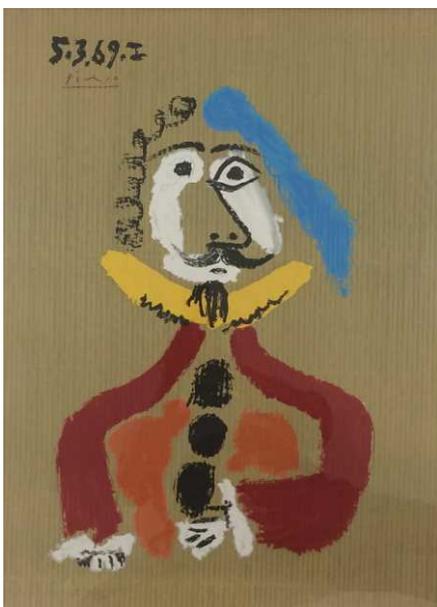
6 ピカソ「女たちの誓い」
 1934年 銅版画 22×15cm
 鉛筆サイン 限定150部

ピカソの新古典主義時代の作品で、ギリシャの劇作家アリストファネスの戯曲「女の平和」の英訳本のためにピカソが制作した6枚の銅版画の一点です。

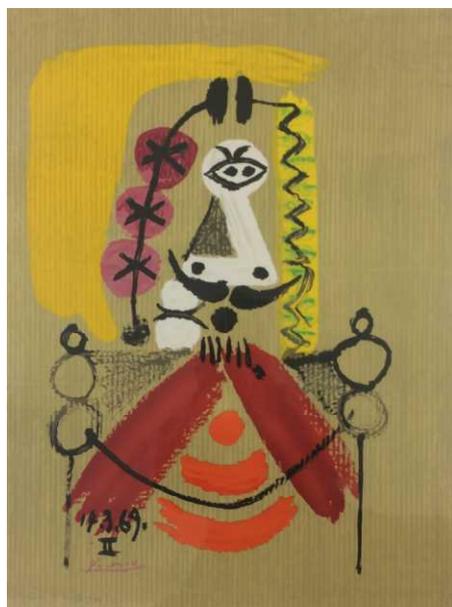
西洋古典の源流とも言える古代ギリシャを題材に、簡潔な線を操りながら、優美な古典美の世界を描き出しています。

版画集「想像の中の肖像」

1969年春、ピカソは段ボールに29枚の肖像画をグワッシュ(不透明水彩)で制作しました。この水彩作品を元に、有名な刷り師マルセル・サリナスがピカソ監修の下、29枚のリトグラフを完成させたのが、版画集「想像の中の肖像」です。この版画集は完成まで1年以上の期間が費やされました。



7 ピカソ「想像の中の肖像」
 リトグラフ 65×50cm
 版上サイン 限定250部



8 ピカソ「想像の中の肖像」
 リトグラフ 65×50cm
 版上サイン 限定250部



9 ピカソ「想像の中の肖像」
 リトグラフ 65×50cm
 版上サイン 限定250部



10 ピカソ「マドゥーラ」
1961年 リノカット 10×22cm
鉛筆サイン 限定100部

ピカソが陶器を制作した南仏のマドゥーラ工房への招待状として制作されたリノカット版画で壺と牧神の顔が描かれています。

リノカットはリノウム板に様々な形状の鑿で彫ってゆく凸版技法です。

南仏ではリノカットの優れた刷り師アルネーラと出会い、独自の技法を生み出し、多くの名品を制作しました。

ピカソの陶芸

ピカソは1947年の夏から南仏ヴァロリスのマドゥーラ工房（窯）で陶器を作り始めました。ピカソはすぐに焼き物の魅力にのめり込み、1960年代後半までに数千点の作品を残しました。ユーモア溢れる造形と美しい発色の陶器は、絵画や版画などとは違った魅力を放っています。



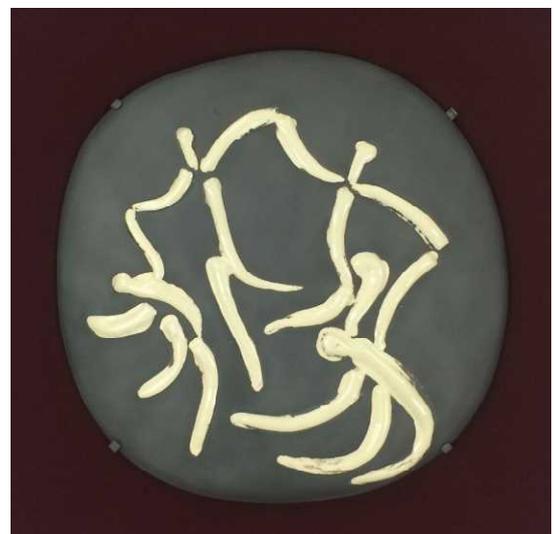
11 ピカソ「星の中の顔」
1947年 セラミック 32×39cm
窯印 限定200部



12 ピカソ「小さなふくろう」
1949年 セラミック H12cm
窯印 限定200部



13 ピカソ「牧神の顔」
1955年 セラミック 24×24cm
窯印 限定150部



14 ピカソ「四人のダンサー」
1956年 セラミック Φ26cm
窯印 限定450部

晩年の代表作「347シリーズ」

1963年の初夏、ピカソの自宅の近くにクロムランク兄弟が銅版画の工房を設け、以降銅版画がメインの技法となりました。その最大の収穫が未曾有の大傑作「347シリーズ」です。この347点の連作は1968年3月16日から同年10月5日までの中のわずか133日間で仕上げられました。銅版画のあらゆる技法が駆使され制作された豊穡な世界は、不世出の画家の創造力の最後の燃焼といえるでしょう。



15 ピカソ "347シリーズ"より「劇場」
1968年 銅版画 29×35cm
鉛筆サイン 限定50部



16 ピカソ "347シリーズ"より「カップルと訪問者」
1968年 銅版画 29×35cm
鉛筆サイン 限定50部

ピカソは挿画本として15世紀スペインの劇作家フェルナンド・デ・ロハスによる悲喜劇「ラ・セレスティーヌ」を刊行、その挿絵として連作銅版画【347シリーズ】から66点を選びました。下に掲載の作品はその中の6点です。小品ながら、エッチングとアクアチントそれぞれの特色が効果的に生かされた、味わい深い作品になっています。



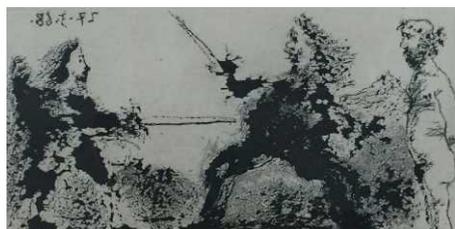
17 ピカソ「ラ・セレスティーヌ」
1968年／1971年の刷り 銅版画
12×9cm 限定400部



18 ピカソ「ラ・セレスティーヌ」
1968年／1971年の刷り 銅版画
9×12cm 限定400部



19 ピカソ「ラ・セレスティーヌ」
1968年／1971年の刷り 銅版画
12×6cm 限定400部



20 ピカソ「ラ・セレスティーヌ」
1968年／1971年の刷り 銅版画
6×12cm 限定400部



21 ピカソ「ラ・セレスティーヌ」
1968年／1971年の刷り 銅版画
8×6cm 限定400部



22 ピカソ「ラ・セレスティーヌ」
1968年／1971年の刷り 銅版画
6×8cm 限定400部